

岸和田健老大学歴史探訪

『高野山を訪ねて』

令和5年10月26日(木) 中谷至告先生の解説付き



今回は、中谷先生と高野山ガイドの山根 隆さん、山根 久美子さんの3人に健老生46名付きっきりで、高野山の事を、詳しく、解りやすく、楽しく説明していただきました。最初の写真は、高野山奥の院の英霊殿の前、紅葉の素晴らしい風景の中、外国人の素敵なカップルに写真を撮って貰いました。可愛らしい彼女の盛り上げのお陰で、全員が笑顔の1枚となりました。

道の駅 くしがきの里

岸和田を7時50分出発し、8時40分には、くしがきの里に到着。残念、道の駅は9時から開店でした。





大 門

けいだいちまち
 高野山は境内地町と呼ばれている。境内地町の入口の総門が大門です。お寺の境内に、町がある事は珍しく凄いことです。高野山は金剛峯寺の境内に町があるという事です。



到着後すぐの集合写真で皆さん表情めちゃくちゃ硬いです



1 班 中谷先生 27 期~37 期 2 班 山根隆さん 38 期
 ~41 期 3 班 山根久美子さん 42 期~46 期の 3 班に
 分かれて説明を受けました。明治 5 年まで女性は、大門よ
 り先には通れなかったそうです。

ちゅうもん だんじょうがらん

中門 壇上伽藍



お大師様が真っ先に造営に取組んだ場所。

金堂…高野山の総本堂。武田五一によって設計。

根本大塔…真ん中に大日如来の像、その周りに四仏の像、その

周りに十六の菩薩の像、金剛界表す。

みえどう みやしろ 御影堂・御社・西塔・東塔・国宝不動堂他 じゃばらみち 蛇腹路が見どころ。



中門は、江戸時代に焼失、平成27年高野山開創1200年を記念して172年ぶりに再建された。

広目天は、セミのブローチを。「広く隅々まで見通せる」「仏教の教えが遠くまで届くように」

増長天は、トンボのブローチを。悪を絶対に通さない、後ろに退かないという意味がある。



1 班



2 班



蛇腹路



根本大塔

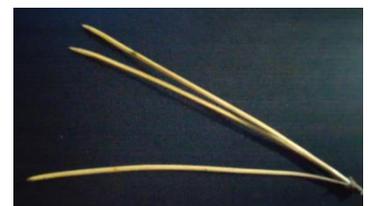


3 班

さんこのまつ

三鈷の松

806年弘法大師様が唐から帰国される際、日本で密教を広めるのにふさわしい聖地を求めて、明州の港から密教法具である「三鈷杵」を投げました。帰国後、その三鈷杵を探し求めると、この松の木にかかっていた。この松は「三鈷の松」と呼ばれ、広く信仰を集めている。松の葉が3葉になっていて、財布に入れて持っていると言われている。本当かな？初めてゲット出来たから、信じてみよう！

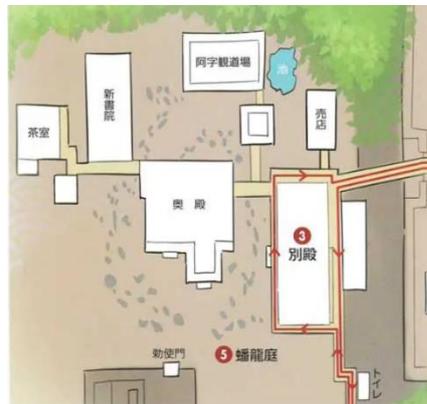


こんごうぶじ
金剛峯寺

高野山真言宗の総本山の寺院。2023年は宗祖弘法大師空海御生誕1250年の記念すべき年。

1593年豊臣秀吉が母堂の菩薩のため、寄進したもののだが、現在の建物は1863年再建されたもの。

ゆっくり時間をかけて説明を聞きながら、内拝する事が出来ました。



金剛峯寺内拝図



ばんりゅうてい

蟠龍庭 雲海の中の一対の龍が
向かい合ってる。



茶の間 千住博画伯の断崖図



未完成の木製格子窓



奥之院

弘法大師は衆生を救うため、奥之院の御廟で今でも瞑想されている。
御廟橋を渡り、燈籠堂、背後が御廟。燈籠堂には千年近く灯り続けている、ふたつの「消えずの火」がある。

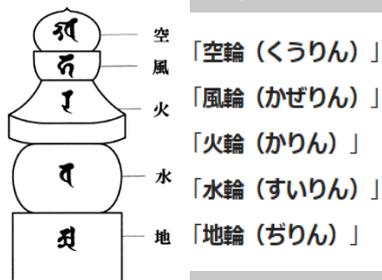


この大きな墓石どうやって運び積んだか？
石の中を三分の一までくり抜き軽くして運び、土を盛って上に乗せ、後で土を取ったそうです。凄い！

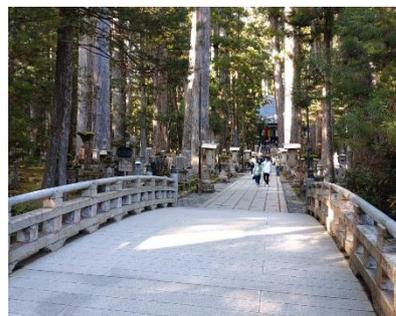


一番大きい徳川秀忠夫人の墓

五輪塔



「本阿弥七基石塔」



御廟橋 36枚の橋板+橋で1枚「金剛界の37尊」を表す

レストラン 楊柳

昼食タイム皆さんに満足していただいたみたいで良かったです。笹巻あんぷも美味しかったです。萬福！



天気が良く、暖かく最高の一日になりました。34期の荒金さんの紹介で、行かせてもらったのに、体調不良で残念でした。皆さんの時間厳守で30分も早く大門に到着し、ゆっくり観光できました。岸和田観光の運転手もこまめにバス移動して頂き、助かりました。帰りに道の駅で柿やみかんを買ってもらえて、ホッとしました。ご協力ありがとうございました。次回もお楽しみに！